

1 郡山市戦没者追悼式



※写真提供 郡山市

開催概要（平成26年度）

歳事名：郡山市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：郡山市民文化センター 中ホール
 住所：福島県郡山市堤下町1-2
 （JR郡山駅より 福島交通バス「市民文化センター」下車 すぐ）
 日時：平成26年10月22日（水） ※例年10月下旬開催
 参列者数：約500人
 連絡先：郡山市 保健福祉部 社会福祉課 024-924-2611（直通）

式次第（平成26年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…郡山市長
5. 追悼のことば…郡山市議会議長、遺族代表
6. 献花
7. 閉式のことば

式辞（平成26年度）

本日ここに、多くの御遺族並びに御来賓の皆様をお迎えして、「平成26年度郡山市戦没者追悼式」を執り行うにあたり、先の大戦においてかけがいのない命を捧げられた郷土の戦没者4,600余柱の御霊に謹んで追悼の誠を捧げます。

今を去る、69年前、祖国の安泰と家族の将来を案じつつ、故郷郡山に別れを告げ、苛烈を極めた戦いの末、心ならずも戦場に倒れ、あるいは戦後、遠い異郷の地で亡くなられた方々の無念さはいかばかりであったかと、万感胸に迫る思いでございます。

今日の私たちが享受している平和と繁栄が、戦没者の皆様の尊い犠牲の上に築かれたものであることは、永遠に忘れてはならないものであります。

御遺族の皆様におかれましては、時を越えてもなお癒されることのない深い悲しみの気持ちがよみがえってこられることと思います。また、その後の、言葉では言い尽くすことができない幾多の苦難を乗り越え歩んでこられた御労苦に対し、改めて心からねぎらいを申し上げる次第であります。

さて、本市は、今年、市制施行90周年・合併50年の節目の年を迎えました。戦後の混乱期を力強く乗り越え、現在では、東北有数の都市として躍進を続けておりますが、これらは、先人の御努力の賜物であり、深甚なる敬意を表するものであります。

現在、東日本大震災とその後発生した原子力災害からの復興の途上にありますが、本市の繁栄と発展を願い続けた戦没者の皆様のためにも、郡山の復興と更なる発展により一層努めてまいることが霊前に固くお誓いたします。

戦没者各位の御霊には、今後ともふるさと郡山の繁栄と平安を見守り給い、永久に安らかならんことを心からお祈り申し上げます。

終わりに、御遺族の皆様方のお変わることのない深い悲しみに思いを致すとともに、末永い御平安と御健勝をお祈り申し上げ式辞といたします。

平成26年10月22日
 郡山市長 品川 万里

2 戦災者慰霊之碑



基本情報

所 在：常傳寺
 住 所：福島県郡山市横塚1-15
 （JR郡山駅より 福島交通バス「横塚二丁目東」「横塚」下車 徒歩5分）
 建 立 者：大越福、遺家族
 建 立 年：昭和42年9月
 連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【表】

戦災者慰霊之碑

大東亜戦争の末期昭和二十年四月十二日米空軍
 B29 数拾機が来襲し郡山東部工業地帯を爆撃せ
 り 吾が横塚部落もその爆撃下にさらされ部落
 全域に近き被害をうけその大半を破砕焼失
 二十二柱の尊い犠牲者を出せり その二十三回
 忌に当り当横塚出身者群馬県太田市在住大越福
 氏の浄財の寄進と遺家族の協力により茲に慰霊
 碑を建立 御霊の冥福を祈念する

昭和四十二年九月

遺家族代表 大越要吉誌す

(故人名)

(寄贈者・発起人・筆蹟人)